

# かけはし通信 NO.11

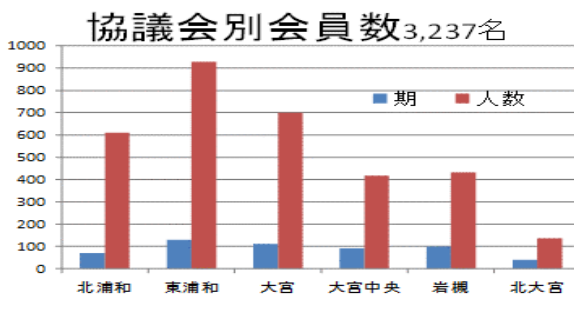


「かけはし通信」に寄せて

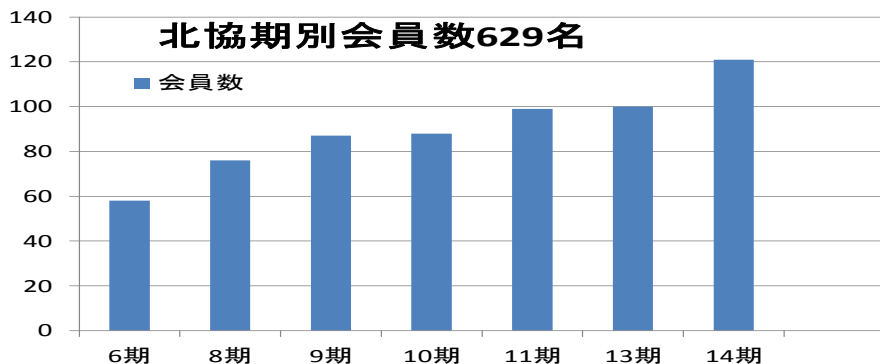
10期校友会会長 木戸武宣

皆さまの尽力で、カラー印刷の「かけはし通信」が発行できます。私から、7月21日の理事会での連合会と協議会の報告をします。

- 全体の会員数は、3,237名で各協議会別で連合会は、東浦和校が、一番多く北浦和校は、3番目です。期の数の多いところが、会員数も多い傾向です。



次に北浦和校の、期別会員数では一番若い14期の会員数が最も多くなっています。



以上のことから、期が協議会に参加し続けることと、現存会員数を持続することが大事だと、改めて認識させられました。10期では、班活動とクラブ活動を通して会員数を維持できるよう努めていきたいと思います。

今年の行事は、6月の企画部主催「私の経営と社会貢献」が好評の

うちに終わり、7月以降うらわ踊り、落語観賞会、轡田氏の講演会と続きました。いずれも担当の方々のご努力に感謝します。

9月以降は、全員集会が16日9:00から予定で、順次バス旅行、演芸会、ミニクリスマス会と続きます。皆様と元気に顔を合わせることができますよう楽しみにしています。



演芸関係担当

副会長 長町園枝

この度、副会長になり演芸担当になりました。木戸会長、野口副会長、また各部の部長さん達に助けて頂き、仲良く楽しい1年にしたいと考えています。

<私の役割> 北浦和協議会主催の行事

- 1、「浦和おどり」 7月12日実施され、10期から参加者23名(男性5名、女性18名)サポート隊15名の御協力を頂きました。当日は天候にも恵まれ踊りも盛り上がり、サポーターのご協力あって、無事に終わる事が出来ました。(反省として法被の配布が困難だったため、その点を改善して行きたいと思いました。
- 2、「北浦和協議会演芸大会」 11月24日(火)実施予定。各期2エントリー決定。演目を決めるに当たり、プロジェクトチームを作り、ミーティングを実施の結果、大勢の人の参加を呼び掛ける事に決定、演目、その他については検討中です。
- 3、「連合会芸能発表会」28年2月21日(日)実施予定。各期1エントリー決定。内容については検討中です。

これから上記の2、3、案については、皆様に出場をお願いしたいと思います。10期として力を合わせて楽しい想いで作りに行きましょう。ご協力よろしく申し上げます。



## 夢の10期研修旅行について

副会長・総務部長

野口雅央

今年の研修旅行は10月に「信州の紅葉と真田の里」に決定しておりますが、20年、30年先の素晴らしい旅行を提案します。

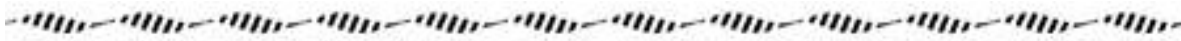
リニア中央新幹線に乗っての旅行です。(未来のハッピーライフです) 2027年にまず、名古屋まで最速40分、2045年には大阪まで最速67分、いずれも最速500キロ～700キロで走行します。一車両を借りきって、名古屋城、大阪城を見学する予定です。参加費用はバス旅行よりかなり高額になりますが、いまから予定に入れてみてはいかがでしょうか。

その為には、金銭面で「振り込め詐欺」などにかかわっている暇などありません、万が一、そのような電話が入ったら、まず家族、そして88名の仲間に相談してから行動しましょう。総会、集会、講演会等に参加して仲間を増やし相談しましょう。

又、これから30年、長寿と健康面で留意していただき、どうしても考えられる病いとして「認知症」の問題もありますが、予防としては、会合等に今迄以上に参加され、今までよりも、900歩多く歩きましょう、参加して多いに笑って、多におしゃべりをしましょう。これで費用の金銭面と健康面は万全です。しかし、どうしても「お迎え」の連絡が入りましたら、今60代の方は・・・花なら蕾なのでまだまだ、70～80代の方は・・・働きざかりで忙しい、90代の方は・・・100歳迄待てと追い返す、100歳代の方は・・・耳が遠くて聞こえないと言って追い返してください。

以上、88名全員で研修旅行に行きましょう。詳細は今後の集会等でご案内しますので、楽しみに出席下さい。

「人生の旅の荷物は夢ひとつ」



平成27年度北浦和校第10期校友会理事・監事一同





## 企画委員会

## 企画委員会部長 西澤 繁

会長の木戸さんには、私は今年も史跡ふれあい会の部長として49名の会員さんを抱えていて到底企画部長はお引き受けできないと言っていました。理事会当日指名を受け、ここでもお断りさせていただきましたが、木戸さんとは史跡ふれあい会や、ゴルフ部で大変お世話になっているところから、木戸さんから言われたらしょうがないとの事で、お引き受け致しました。引き受けた以上は10期の皆様のお役にたてられるよう、微力ながら努めていきたいと存じます。

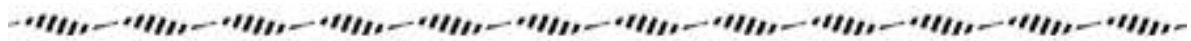
企画委員は畑中さん、藤木さん、大場さん、大澤さん、田村さん、萩原さん、吉田さん、と私の8名です。

5月1日の理事会に企画委員会で提案した企画(行事)を発表しなければなりませんので、急遽4月22日企画委員会を開催しました。この日に年間の行事を決めなければならないということですが、どなたも提案などは持ち合わせておりません。また、年間6万円の予算内で企画をしなければなりません。

全体会議の後に企画の提案した行事を行うわけですが、全体会議に魅力あるのか、その後の行事に興味があって参加されるかですが、とに角、昨年より縮小された予算で実行していかなければなりません。また、委員の皆さんの声は会員の皆さんに喜んでもらえるユニークな企画を立てたらどうでしょうとの意見でした。企画部長に推薦された私は本部の役員の経験は皆無ですので大変戸惑いましたが、昨年まで会長をされていた畑中さんの助言や正副会長さんのご意見、委員会の皆様のお話などを伺い今年度の企画案が出来上がった次第です。

こうして出来上がった企画で6月の総会の後の講演会は、我々と同年代でユニークな経営と地域のボランティアをされておる小畑さんのお話でした。

また、9月の講演と10月のバス旅行は来年のNHK大河ドラマ「真田丸」に関連する行事です。12月は歌とミニパーティーを企画しております。兎に角、企画委員の皆様が知恵を絞った企画ですので、会員の皆様にはその辺をご理解頂き行事への参加をお願いいたします。そして、ご自分の属している班の方々だけでなく10期全員の方々とは広く交流を重ねて頂ければと思っています。



----毎月の再会が心待ちに ----

1班 岡田 健

我々1班のメンバーは入学時12名・今年6名の半数に。家庭の事情・体調不調等でやむなく校友会を去っていくのを見るとなんとも寂しい気分になる。この5年間を振り返ってみると、見学やら、散策後食事をとりながらの、取留めもない話、ただそれだけのことなのだが、それでも、これまで2度ほど一泊旅行であるが、那須温泉と白浜へ、温泉から上がった後の



乾杯のアルコールが入るとさらにいつもと違う、一体感が生まれるように感じられるのは、小生だけではないようだ。……最近取留めのない話のなかに、物忘れや人の名前が出てこない、という? このことに否を唱える人はいない。みな一様に惚けたくない。ここで「シルバー川柳」の一句「忘れ物 口で唱えて 取りに行く」を話題にし爆笑した。ともあれ、この繋がり輪・これからも心安らぐお付き合いを続けていきたいと思うきょうこの頃である。



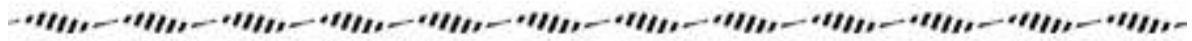
原稿を書くにあたって、思い出した。シニアユニバーシティ  
10期2班メンバーが決まった次の週の登校日の朝、2班メン  
バーの一人に出会った際「おはようございます」と挨拶の声を  
かけられたことが、とても嬉しくて忘れられない。さらにシニ



ア大学に入学して良かったと思う一言になったと、話してくれた友がいます。私も何となく不安な  
緊張した気持ちで入学式に出席、「お早うございます・さようなら」の挨拶もなく終了解散となり、  
淋しい思いが残ったことが甦ってきました。いまでは打ち解けた仲間、旧知の友のように思う2班  
メンバー、2か月に一度の会合が楽しみ！

大学・大学院卒業後3年を経て、4年目に入った。班メンバーは卒業時と同じ12名(男性5名、  
女性7名)。偶数月に食事会をすることになっている。幹事役は前年度の最後の食事会の折、くじ  
引きで決める。食事会の全員出席はなかなか難しいが、1～3名の不都合くらいで4年目にはいつ  
ての率としては良い方だと思う。なにしろ後期高齢者3名、70代8名、60代1名の年齢揃えである。  
腰痛・膝痛等等それぞれに年相応の何かしらの老人力を備えている面々なのだから。

老人力に負けず2班食事会が長く続きますように願っている。



## 3班

## 平澤 茂



三班では金田さんを講師に南箇公民館で月一の陶芸教室  
を開く。愉快的な歌体操から授業が始まり、休息は、お茶し  
ながらの班の連絡タイムでもある。

勿論飲みものにケーションも抜かりなし。南箇公民館近くのお  
好み焼き屋もみの木や浦和のキリンシティが主なアジトで  
ある。圧巻は浅田さんの家での忘年会。女性陣の手料理の  
山、美味である！男どもは飲み物  
の準備だけ、ということでも



安上がりは無礼講の大宴会で年を終わる。浅田さんの奥さんに感謝。  
最後に、メンバーの近況報告ということで締めたい。

秋山：5・6年先を見通し、地元で出来る楽しみを探しています。

浅田：仲間との版画展、無事終わり多くのシニア大学の皆さまに見にき  
て頂き、ありがとうございました。

荒山：酷暑！体力と根性のない私！涼しい所で読書三昧の毎日です。

江田：最近男性演歌歌手の新曲に挑戦しています。覚えることはとても  
楽しいですよ。頑張ります。

金田：♪左手の骨折ほぼ完治。両手が使える喜びを知りました。そこで  
教訓 1、自転車には雨の日は乗らない。2、転んだ時は手をつかずお尻をつく。

作田：大宮盆栽美術館のワークショップに参加、涼しげな山野草寄せ植え盆栽造りを楽しんできま  
した。

関根：早朝ウォークを始めて5年、最近メニューの中に太極拳の練習を加えこの年にして24式  
検定に挑戦、合格。また初心にもどってがんばっています！

長町：韓国のバンドに夢中でファンクラブに入り、コンサートに行き元気もらっています。

峯岸：毎日、元気で過ごしています！

平澤：泰然自若、欣喜雀躍、暗中摸索、支離滅裂、Who am I?



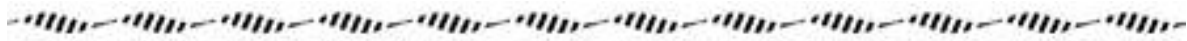


## 鉄道博物館

## 4班 渡邊昭輝

4班の活動として4月10日(金)にハイキングを予定していましたが雨模様のため急遽、行き先を大宮の交通博物館に変更し、11時過ぎに入館しました。同時刻からガイドによる説明がありましたので、それへ参加しましたが、ガイドさんの説明が丁寧過ぎて行程の半分しか進みませんでした。それで昼食後、同ガイドさんに後半の説明をお願いしました。ガイドさんは82歳の元国鉄マン。ボランティアでガイドをしているそうですが、頭も眼も耳も私よりしっかりしているようで驚きました。途中で「鉄博再発見!!クイズラリー」という表題のパンフレットを手渡されました。これは鉄道博物館ヒストリーゾーンに展示されている車両36両の中から7両にまつわるクイズに挑戦し、全部正解したらオリジナルグッズをプレゼント!という内容です。結果はどうだったかと云いますと、件のガイドさんが説明しながらカンニングよろしく答えを教えてくださいましたので、全員めでたく全問正解で、「2015年版全国鉄道路線図」なる地図をゲットできました。最後は屋上へ行き、15時20~40分頃に傍らの線路を通過する新幹線列車を見学しました。かくして、退館するときは16時となり、実に密度の濃い一日でした。

鉄道といえば、以前の旅客用車両はこげ茶色の客車列車で、1~3等車の3種類ありました。皆さんは記憶にありますでしょうか?私が子供の頃に見た1等車は車両側面に白い帯が塗られており、利用者は当時の占領軍であるアメリカ兵でした。2等車は側面に青色の帯が塗られて、座席背もたれはビロード張りのクッションでした。3等車は帯なしで、背もたれは板製。さらに、車両側面には1~3等車にそれぞれローマ数字でI、II、IIIが記されておりました。当時の一般庶民は殆どが3等車利用でした。現在の状況を見ますと、我々が通常利用しているJR車両は3等車なのです(今も昔も変わらず)。グリーン車が2等車です。1等車は無かったらしいのですが、最新の新幹線用デラックス車両(お酒飲み放題とか?)が1等車なそうです。これらの区別は、実は以前から個々の車両の側面と車内に記号で明示されておりました。例えば京浜東北線の1編成の電車の特定の車両に注目すると、サハE233-1478と記されています。カナ文字「サハ」の「ハ」が3等車を意味します。2等車が「ロ」、1等車が「イ」で、即ちイロハの順になります。では最初の「サ」は何かと云いますと、当該車両には運転席もなければ床下にモーターも付いていない車両を指示します。運転席のある車両は「ク」、モーター付き車両は「モ」となります。例えば「クハ」や「モハ」(では、クモハは?)。「モ」はモーターから、「ク」は駆動に由来することは容易に想像できるのですが、「サ」は不明。それで今回の博物館で詳しい方に尋ねたのですが、判然としませんでした。どなたか御存知の方がおりましたら教えてください。E233の意味は車両の型式です。最初のEはTV表示付きの意。また、1478はこのE233型車両の製造番号です。余計なことですが、武蔵野線の電車は「E」無し車両ばかりです。要するにJRは古い型式の車両ばかり回してくる訳です。同じ運賃なのに明らかに差別されていることとなります。武蔵野線は本来、貨物専用線だったのだからいいじゃないか、という声が聞こえてくるようです。



### 5班の「班だより」

木戸 武宜

- 6月6日 河西医院専務講演&総会
- 7月13日 浦和おどり
- 9月5日 防災 県防災課西谷氏
- 11月27日 ボウリング大会協議会主催 大山・木戸・藤木・富永組優勝
- 12月5日 全員集会「相続」の講演 60名出席
- 12月10日 演芸会(初) フォークダンス・長生きサンバとお風呂体操で参加
- 1月20日 新年会&ボウリング大会 佐藤、木戸組優勝!
- 2月22日 芸能発表会木戸、佐藤さん出演、展示会佐藤さん高石さん川口さん出品
- 3月20日 講演会「ピロリ菌と胃がん」 川久保実和先生  
総会 新規約による新理事選出と新役員承認
- 3月24日 バス旅行筑波山天候に恵まれ楽しい旅行になりました。大久保さん出席



我が班では、隔月で集まって食事をしたり、落語観賞をしたりしています。その時校友会の活動を班だよりとして配っています。上記は、その昨年分の抜粋です。

一年間で見てみますと、随分いろいろなことをやってきたものだと思います。中には、体調が万全でない方もいて必ずしも出席状況は良くないのですが、欠席の方にも、班だよりとして出来事の一覧表を配っています。一年間全く出席できなかった方も、班だよりを見て懐かしく思い、体調がよくなったらと思いを馳せ、会員継続してくれています。いい絆を保ちたいものです。

## 6班は、今年もエネルギー全開で活動中！！

川野 千晴



はい！私達は6班です。  
みんな洗練とした美男美女だと思いませんか？何たって、よく食べよくしゃべり、よく笑いますからね・・・

何しろ我が班の人たちは、元気もりもり活力旺盛なのである。ハイキング・ダンス・カラオケ・ゴルフ・墨彩画・花散策・オカリナといった様々な趣味活動の他に、校友会の理事、ボランティア活動・町内会の役員、孫の世話、家事一切など、そりゃあ忙しいのである。どの人も病気をしている暇がないのである。このままかっこいい90歳のじいちゃんばあちゃんになるだろうと誰もが思っているのである。しかし、おしゃべりの中に、ちょっぴり認知症の話・介護施設の話が出てくるところが、シニアということになるのでしょうかね～？



東浦和から用水縁の桜見物に出かけた。花かげには鶉、路傍には菜の花、蒲公英、堇が咲き誇る。今真に春爛漫。みんなで鬱金桜の下で記念撮影。心弾む今年度の活動の始まりです。

6班日記より

## “天与の恋”

7班 佐藤 邦子

北原先生、私は七十四才になりました。  
十八の私に、卒業の折、先生は“邦子さん 天与の恋に恵まれよ”と書いて下さいましたね。あれから長い長いあいだ、夢中で過ごして来ました。死んでしまいたいと思った事も有りました。あれが“天与の恋”だったのでしょか。それとも、三人の子供に恵まれた亡き夫との出会いが、そうだったのでしょか。いろいろな思い出も過去たちも、今はもう穏やかに優しく、私と寄り添いながら生きています。幸せな事に、両親よりずっと長生きさせてもらっています。すべてを受け入れる準備も出来る年になりました。日々感謝しながら未来へ向かっています。

先生が亡くなられた事を知りました。

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

先生は“天与の恋”に巡り合えたでしょか・・・・・・。そして私は、宿題をかかえて生きて行きましょう。素敵な宿題をありがとうございました。





4月12日、今年度初めての班の活動日です。朝から久しぶりの晴天。行楽日和そのものでした。何だかうれしくなって集合場所の赤羽駅に向かいました。早朝から都内の架線事故で山手線も京浜東北線も思うようではありませんでしたが、皆定刻にはそろいました。

まず、はじめに西新井太子、関東3太子の一つです。門前ではお団子や豆菓子など中高年の好きそうなものばかりが売られています。お参り後、草団子を食べながらお茶を飲み一休み。その後「八重桜見物」と洒落込みました。日曜日で都市農業公園は桜まつりそのもの。人が多く交通も少し混乱していましたが、多くの種類の八重桜を見学。特に緑色の桜にはびっくり。楽しい1日となりました。

桜見物後は川口駅近くでおしゃべりしながらのランチ。その後解散。まだ電車は完全には復旧していませんでした。それでも何とか、予定通り帰宅できました。

健康な体力と良い仲間があってこそ、出歩けることの楽しさを実感した1日となりました。



## 九班

## 吉田裕子

原稿を書くに当たり、つらつらと校友会活動を思い出しておりますと、早いもので入学して既に6年目へと入っております。

人生の後半をどういう形で過ごそうかと、恐る恐るまったく見ず知らずの中に入ったにもかかわらず、班活動、クラブ活動を通して、今では国内旅行・海外旅行までも一緒できるたくさんの仲間が出来ました。

さいたま市が多分意図している、孤独な老人を作らないで、いかに生き生きと健康な老人を作るために、シニア大学の活動は素晴らしいものだと思います。

最後に9班の活動状況ですが、昨年暮れより一番頼りのリーダーが体調を壊し、皆元気がなくなりましたが、7月の関東寄席、8月のお風呂、9月の彼岸花と予定も順調に入り復活しました。

これからも健康寿命を少しでも延ばせるように、楽しみを沢山見つけて支え合っていけたらと思います。



## 情報伝達の大切さ

## 広報部長

## 池田善四郎



10期校友会広報部役員を受けて2年目になり、校友会全体への迅速な情報の伝達の難しさを感じています。クラブ内や班内では夫々のコミュニケーションがとれているものと思はれますが、10期全体となると大勢になり、なかなか難しい面が感じられます。

「10期ホームページ」を見て頂ければ、お伝えする情報は常に掲載する努力はしていますが、全員に見て頂く訳には行きません。それに代わるものとして「校友会だより」を発行して班長さんを通じて全員に配布をお願いして、情報の伝達のお手伝いをして頂いています。当然重複する内容ですので、見あきってしまう事もあるかと思えます。しかし、ホームページは迅速に情報を多くの人が共有化出来、情報の伝達機能は最も優れていると思えます。「校友会だより」に皆さんからの声の送稿があれば、紙面の都合もありますが掲載したいとも思っています。

広報誌「かけはし通信」と共に校友会のコミュニケーションに少しでもお役に立てば幸いです。



6月24日(水)快晴。10班、11班合同で小田原に出かけ、小田原城や市内を散策し、地元の新鮮で美味しい「鰻寿司」を賞味する、という計画で新宿駅南口に9時30分に参加者10人が集合しました。

新宿駅発10時定刻に発車した「スーパーはこね」の2つの個室に8人が入り、10班の男性2人はロマンスシートに座り、皆さんが持参したお菓子等を配り合い、それぞれで談笑を始めました。

その時、突然車内アナウンスで、「柿生駅構内で人身事故があり、この電車は成城学園前駅で運転打ち切り」と案内がありました。電車は間もなく成城学園前駅に到着し、乗客全員が降車し、我々もホームにいても電車の来る予定がないので、2階の改札階に上がり椅子に座ってから今後の方策を検討しました。

人身事故発生時刻と運転再開までの所用時間2時間弱を駅員に確認し、新聞記者歴がある10班の大津さん、幹事の野口さんと3人で相談しました。

事故処理と警察の現場検証に2時間もかからないだろうし、既に事故発生から30分以上経過しているのので、1時半頃までには急行が来るだろうと纏め、皆に話しました。

新宿へ戻りJRの湘南新宿ラインで小田原へ出ては、という意見があり時刻表で調べたら最短で小田原着が13時15分なので、小田急の普通乗車券を無駄にして新たにJRの運賃を払って小田原へ出るよりはここで待機するのが得策ではということになりました。

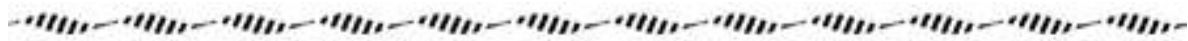
全員が特急運賃の払い戻しを受けて、11時15分頃ホームに行ってみたら、急行電車が入ってきたので、皆に呼び掛けてその電車に乗り小田原に向かい、午後1時前には小田原駅に到着しました。

想定外の電車事故による疲れと空腹で、そのうえ暑い日差しの中を歩きましたが、豪壮な門構えの「だるま料理店」に着き、当店お勧めの相模湾で獲れた新鮮な「鰻寿司」とビールを御馳走になり皆それなりに満足しました。

小田原の到着時間が結果的に1時間半程遅れましたが、その後は予定どおり小田原城等を散策し、帰りは予約していたロマンスカーに乗車し皆元気に帰ってきました。

今回の経験で、人生においては危機管理と適時適切な判断が常に求められることを痛感させられました。

切符等の手配をしてくれた幹事の野口さんありがとうございました。10班11班の皆さんお疲れ様でした。



## 11班の活動状況報告

班長 茂林 和子

27年度も、昨年同様会員8名であり、11班は25年9月以来原則として10班と合同で活動してきております。従って27年度を迎えて、11班単独の活動ははまだしておりません。

合同の活動状況報告であるため、10班と重複することをお許しく下さい。

合同の命名は26年7月に「ひまわりの会」として2か月に1回を目途に開催する予定で、今年度は4月に食事会(15名)、6月に小田原城の見学、市内周辺の散策後(10名)新鮮な海の幸に舌鼓して至福の一日を過ごしました。合同して以来11班の参加人員にバラツキはありますが、趣味にボランティア等にと活躍している会員は、日程の調整が難しいためであります。これは、皆が元気でいつも若々しくいられる源であると思っております。年齢と共に気力・体力・好奇心・感動・工夫・興味などは衰えることなく持ち続けているメンバーであると思っております。





## 12班 春の花めぐり

富永房子

少し前になりますが、4月30日、班の活動の一環として、国営ひたち海浜公園（ネモフィラの丘）と、足利フラワーパークの大藤、白藤を愛でてまいりました。ここは、私がかねてから是非一度見てみたいと思っていたのですが、なかなか実現しなかったところでした。今回の担当は野本さん、にクラブツーリズムで参加となりました。

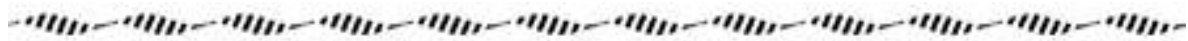


それはもう一点の曇りもない素晴らしいお天気に恵まれて、さあ出発、新都心を、8:00に出て一路ネモフィラを目指してひたち海浜公園へ。当地は、ほんとに丘全体が一面、ブルーのグラデーション、パンフレットにあるよりもっと青がきれい、ネモフィラの青、真っ青な空、そして丘の上に登ればきれいな海の青、本当に、青が素敵で大好きになりました。



後で知ったのですが、ネモフィラは一年草なので、毎年毎年、季節になると新しいお花を植えて春に備えるのだそうです。450万本の青いじゅうたんは、素晴らしいの一言で本当に感激しました。その後足利のフラワーパークへ、私たちが行った4月30日は、本来ならまだ藤の花は少し早いかもしれないと思っていたのですが、今年の陽気で紫の藤、白い藤、そして赤、ピンク、白のつつじ、最高の満開のお花畑を見ることができました。

あちこちの藤を見てきましたが、足利の藤はお見事というほかありません。藤っていいにおいがするんですね。藤のトンネルの中を歩いていると何か別世界の中にいるような気がしました。5月の連休の直前のツアーでしたが、渋滞に巻き込まれることもなく、お天気にも、お花にも恵まれ最高の1日でした。帰りも予定より早く新都心に無事到着して、貴重な1日が終わりました。



## ダンス部近況

藤木利信

ダンス部は男性3名、女性3名の構成で月曜日の3時から5時まで月2~3回程度、常盤公民館か針ヶ谷公民館で練習しています。練習する種目はスタンダードではワルツ、タンゴでたまにスローフォックストロット、ラテンダンスではルンバ、シルバが主です。

秋山部長が最近腰を痛め欠席しているので、パルコの10階等で開かれるダンスパーティーにはこの所出ていませんが、回復次第、また全員で参加したいと思っています。

ところで、12月22日(火)に10期の校友会行事としてクリスマスパーティーを企画していますが、この時はダンスタイムを設ける予定です。私達の若い頃は社交ダンスが流行っていて、ダンスを習ったり、ダンスパーティーに出た方も結構いるのではないかと思います。是非昔を思い出して参加して下さい。またダンス部の練習日への参加も大歓迎です。新しい部員も求めていますので、興味のある方は是非ご一報下さい。社交ダンスは70代は勿論、80代、90代の方も元気に踊っています。私も始めてまだ数年。この奥の深い社交ダンスを生涯スポーツとして楽しんで行きたいと思っています。



史跡ふれあい会の昨年は「東京十社」を巡り終えました。そして品川寺では東京六地蔵の一番（東海道は無事）に巡り会えました。

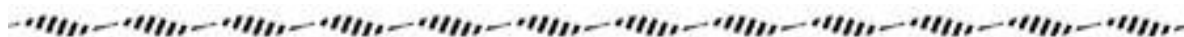
今年度はすでに7月の例会の「霊巖寺」では六地蔵の五番（水戸街道）に巡り会えました。さらに計画では二番と三番を予定しております。

今年は会員が49名と若干減少しましたが、まだまだ我々が知らない、見たことや聞いた事がない事柄が沢山あります。そして地域のお祭りなど日本各地に存在します。

日本の植物の種類は世界第一位との事ですし、日本には四季があり同じ場所を訪れても季節によって異なります。日本に生まれてよかったと感じるのは山や湖や河川、神社や仏閣、庭園などに触れあう事ではないかと思えます。今年度は行事の回数が昨年より少なくなりましたが、各地のお祭りなどの日程が決まり次第、参加募集をする予定でおります。

また、今年は会のバス旅行はありませんが、校友会十期の「真田の里」を訪ねるバスの旅にご参加いただきたいと思います。

まだまだ知らないことが沢山あります。長生きして知識を身に付けようではありませんか。



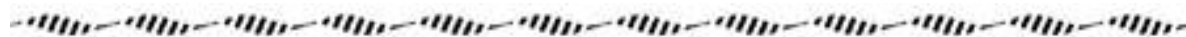
### 「こまくさ」ハイキングクラブ

池田善四郎

「こまくさ」ハイキングは、平成22年7月に第一回「高尾山ハイキング」をスタートして、今年平成27年7月24日「秩父さくら湖と周辺の里山ハイキング」で53回実施しています。

現在会員19名で、畑中会長を中心にA・B・Cの3チームにして、山口・金澤・深石各氏を各チームのリーダーにお願いして、毎月第4金曜日に各チームが交代で幹事役を務め、計画立案実行しています。そして帰路の反省懇親会も楽しいものです。

春夏秋冬四季の自然の野山を、みんなで歩く心地良さ、高齢化と共に足腰も弱って参りますが、健康で元気な生活が送れます様、ハイキングクラブが長く継続される事を期待しています。



### 彩和会のあゆみ

ひと声かけて歩み寄り～シェアする仲間が彩和会メンバーです。よく笑い、良く喋り、よく食べ、パワフル全開の10人男女衆、アットホームな楽しい一時がしあわせの瞬間ですね！  
これからも未長くお付き合いを宜しくお願い致します。

大澤 静江





カラオケ部は、シニア大学10期として入学したその年に部員10人程でスタートしました。初代部長は、1班の鈴木ふさ子さんで、2代目が現在の藤木さんです。創部以来6年になりますが、部員皆様のご協力により、明るく元気にカラオケを楽しんでおります。今年に入り、女性1名が入部したので、男性7人、女性7人合計14人の大所帯になり部としての限界に達しております。



14人が全員出席しますと、部屋は満席になり、所定時間内に1人が歌える曲は3曲で、4曲目を2コーラスでカットして、全員に廻るかどうかですから、時間管理を担当する大久保菁子副部長は大変です。月1回集まって歌える曲が僅か3曲から4曲ですが、メンバー各人がそれぞれの持ち味で歌いますから、皆さんが品位と節度を保って清聴し、歌い終わるとエールの交換の拍手をして、感謝の意を表します。全員が2曲目を歌い終わると、部長からの連絡時間となり、次回の開催日や暑気払いあるいは忘年会の連絡等和気藹々と賑やかになります。最後は、「青い山脈」を全員で輪になって歌います。

これまでの6年間、大きな事故等もなくやってきましたので、今後もカラオケ部14人全員が「継続は力なり」で、「明るく元気に愉しく継続」していけるように念願しております。

### パソコンクラブ活動

部長 池田善四郎

さいたま市シニアユニバーシティ北浦和校「第10期パソコンクラブ」は2010年6月定員一杯の20名で発足し、2013年4月まで大宮の安楽寺境内のパソコン室で学んできました。

2011年3月11日の東日本大震災の影響での、計画停電による休講も途中ありましたが、猛暑の中、厳寒の中、高齢者であっても熱心に通い学ぶ、クラブのみなさまの姿勢に感動していました。

4年目から、さいたま市の建物「のびのび大宮プラザ」3階のパソコン活動室に移動しました。同時にWindows8の新しい機種になり、操作の面で戸惑いも感じましたが、講師の先生方の御指導で、楽しくパソコン操作の基本を覚え、奥は深いですが役に立って行く事と思います。

2年前に発行した全員の記念作品集を思い出に、パソコンクラブも12月に解散する事になります。解散後は年1回位今迄在籍された方々で、懇親会が開催出来る事を期待しています。

今年クラブ5周年の集合写真



クラブ1年目の集合写真





幾つかの難題を孕みつつ曲がりなりにも月1回の活動を続けていられるのは、部員一同の「みんなに会いたいな！」との切ない気持ちを支えにして参加していただいているからと自負しています。その一方で、特にここ3年は全体を3班に編成して当番制で企画から催行まで各班長等にすっかりお任せしての月例会となっております、全くの名ばかり部長である私が果たしてこのまま続けてよいのだろうかと自問してもいます。

そうそう、今年度の予定を含めてご報告をせねば・・・。

4月、戸田の浮間公園の一角で地元の保存会の方々が守っているサクラソウ圃場に行きました。規模は小さく少し物足りなかった感じがしました。それでも八重桜の舞い散る中を散策しながら駅前の居酒屋でランチタイム。久しぶりに参加された男性もいらして楽しまれた様子です。

5月、桜の季節はとうに過ぎてしまったのに高尾の多摩森林科学園の桜保存林へ。当日は天候が心配でしたが参加者の心掛けが良かったのか(?)雨も一休みしてくれました。お目当ての山桜も見られませんでした。その代わりに新緑を愛でながらボランティアによる植物や昆虫類に関する興味深くかつ貴重なお話に疲れを忘れるほどでした。なんでもその道では著名な方だそうであちらこちらで講演をしておられるとか。

6月、又もやお花に見放されたようで、枯れ果てた紫陽花を見に足立神社へ行ってきます。近くの鴨川みずべの里で少し遊んでみましょうか・・・。

7月、石神井公園散策です。若き日にボートに乗って夢を語り合ったなあ～なんてノスタルジーに浸るのも一興でしょう。失礼しました、スイレンと森林浴が目的です。歩いた後の美味しいパスタもお薦めです。

8月、恒例となった工場見学。北本のグリコピア・イーストでクイズに挑戦します。全問正解して賞品をゲットできるのはどなたでしょうか？

9月、残暑が厳しいことが予想されますので、遠出は避けてランチのみ。武蔵浦和に最近出来たお店にですがどんな評価が下されることやら。

10月は未定ですが、11月3日は紅葉の平林寺です。祝日なので混雑がちょっぴり気かりなもの、境内の整然とした中に緑と黄葉や紅葉の素晴らしさに息をのむことでしょう。

そして12月、工場見学を申し込んでいるところでして、期日は12月1日を予定しています。

以上、当クラブの近況報告でした。

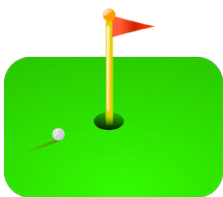
(6月27日 記)

## ゴルフ部の近況

萩原英子

ゴルフプレーは原則として毎月第三火曜日に実施しています。そして、ゴルフ場選びは近場でシニア向けで料金が安く、できるだけフラットで優しい場所です。部員数は不足気味ですが、このところ3組フルメンバー(男性9名女子3名)でプレーを楽しんでいます。

今年5月に第2回シニアユニバーシティ北浦和校合同コンペ(8～11期)を大宮国際CCで実施しました。前回に比べ参加者が少なかったものの、10期は全員参加です。2回目ともなると顔なじみもでき、真剣なプレーになったり、時には冗談を言ったりして楽しいコンペでした。シニアとは思えない若さで元気です。また、表彰式&パーティではおしゃべりが弾み、和やかなひと時を過ごしました。部活も夏場は休み9月から始動します。合同コンペも秋に開催を予定しております。



**ゴルフに興味をお持ちの方、男女問わず入部をお待ちしています。**

### 編集後記

北浦和校10期校友会の全班・全クラブのみなさんの御協力を頂きまして、初めてカラー印刷の広報誌「かけはし通信 NO.11」が発行出来ました事に広報部一同厚く御礼申し上げます。予算の関係で頁数を12頁に制約しましたので、字数の多い原稿については、文字を小さくするなど投稿者にとっては、不満足な点もあると思いますが、何度も編集会議を開いて編集して来ました。不行き届きの点はご容赦ください。この広報誌が校友会活動にお役に立つ事を期待しています。

広報部 片岡恭子、石井正雄、池田善四郎